

Charity Concert vol.24

高田さんと 有希子さんと 時々けろちゃん

日時 2023年
11月23日(木・祝)
10時開場 10時30分開演

おとなも子どもも
チケット 500円

場所 野毛山キリストの教会
礼拝堂

主な曲目

日本の四季
サウンド・オブ・ミュージック
他



高田ひろ子 /ピアノ

出演



渡邊有希子 /ソプラノ

大阪府出身。5歳からピアノを学ぶ。小学5年からサイモン&ガーファンクルなどをギターで演奏していた。ジャズ奏法を高瀬アキ氏に、作曲法を二橋潤一、松平頼晴の両氏に、現代音楽ピアノ奏法を平尾はるな氏に師事。「Piano Now」ではG.リグティや柳慧の作品を演奏。1995年より、自己のグループを結成。以来、オリジナル曲を中心に、カルテットや、トリオ、デュオで7枚のリーダーアルバムをリリースしている。デビュー作『a song for someone』はディスクユニオンの選ぶ「1990年代 Best50」の一枚に選ばれた。1996年～2004年には、スイス人ベーシスト、パンツ・オスターとのデュオでスイスと日本をツアー。20年12月、Noriko Suzuki (vo) 率いるグループ「Be-Spell」で、チエコの小説家 M. クンデラの『存在の耐えられない軽さ』を音楽化するプロジェクトで、作曲とピアノを担当し、アルバムをリリース。現在は、小美濃悠太 (b)、岩瀬立飛 (ds) とのトリオ、安川大樹 (b)、橋本学 (ds) とのトリオ、Be-spell、さがゆき (vo) とのユニット「Peaceful Dreams」などを核に、カルテットや、様々な楽器や歌とのコラボレーション、またソロ演奏も行っている。

岐阜県加茂郡富加町出身。物心がつく前から歌うことが好きで、幼少よりピアノを始め、小学3年の時に関市少年少女合唱団へ入団。中学3年より声楽を学ぶ。岐阜県立加納高等学校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業。卒業時に武岡賞受賞(主席)。東京芸術大学大学院修士課程独唱科修了。修士課程ではシューベルトの歌曲研究に取り組む。卒業後はバロック作品も多く学び、バロックから初期ロマン派まで得意レパートリーとする。

宮内庁桃華楽堂での御前演奏会を始め、各種の演奏会に出演。宗教曲では、モンテヴェルディ、バッハ、モーツァルト、シューベルト等の作品のソリストや少人数アンサンブルにも参加している。

第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位。第1回岐阜国際音楽祭コンクール声楽一般の部第3位。第26回国際音楽コンクール(山梨)第3位(1位無し)。これまでに曾我榮子、故佐竹由美、故朝倉蒼生、佐々木典子、故森晶彦の各氏に師事。ジョン・エルウイス、エマ・カークビー、ルーファス・ミューラー、ロベルタ・マメリ等海外の名歌手のマスタークラスでも研鑽を積む。

現在、横浜市在住。2015年に息子を、2017年に娘を出産。母になってからは、0才から楽しめる朝しみやすいクラシックや童謡のコンサートにも力を入れ、日本語の歌にも定評がある。2018年に結成したママ音楽家による音楽グループ Clara Musica は2023年に5周年を迎え、音楽付き朗読絵本「あったかい背中」を出版する等、活動の幅を広げている。

とにかく歌うことが好きなおことでした。基礎はクラシックにありますが、童謡、唱歌、民族音楽、ポピュラー音楽等のジャンルを問わず、心に響く作品を生産して歌い続けて行きたいと思っています。



けろちゃん